

平成25年12月期第2四半期

決算説明会

ご参考資料

平成25年 8月22日

大倉工業株式会社



OKURA

真心を包み、幸せを守り、技術を進化させる —

平成25年12月期

第2四半期決算説明会

平成25年8月22日



大倉工業株式会社

OKURA 真心を抱き、幸せを守り、技術を進化させる

目次



1. 第2四半期決算の概要

2. 通期の業績予想

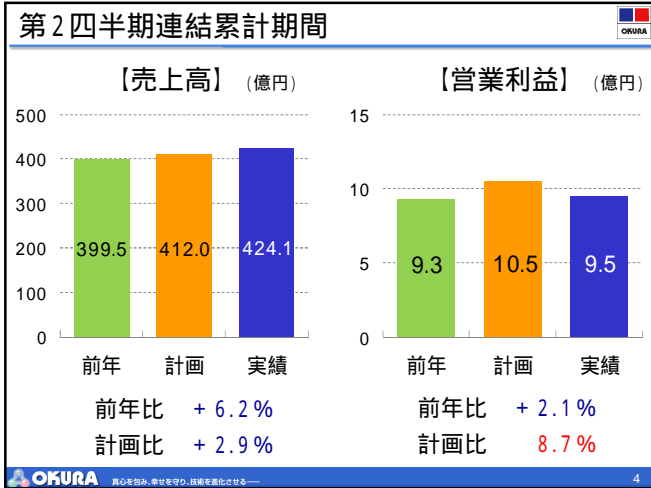
OKURA 真心を抱き、幸せを守り、技術を進化させる

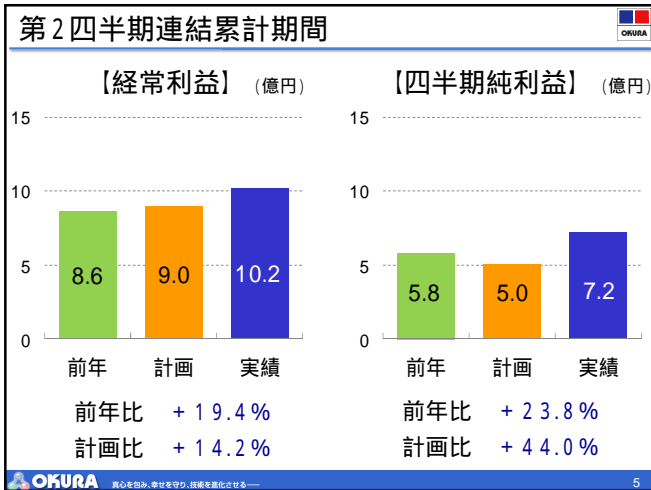
2

1. 第2四半期決算の概要

OKURA 真心を抱き、幸せを守り、技術を進化させる

3





第2四半期連結累計期間

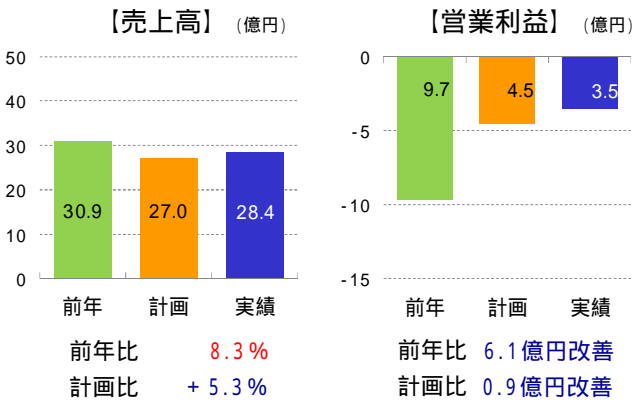
(億円)

	H25上期	前年比
売上高	424.1	+ 6.2%
営業利益	9.5	+ 2.1%
経常利益	10.2	+ 19.4%
四半期純利益	7.2	+ 23.8%

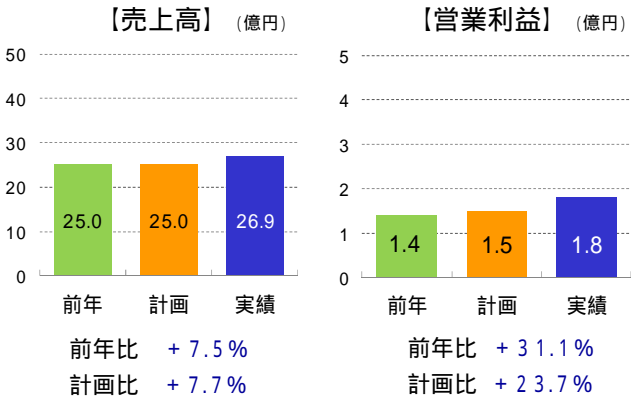
営業利益は、円安に伴う原材料価格の上昇や製品単価の下落などの影響があったものの、円安の急速な進行による為替差益等によって、経常利益・四半期純利益が持ち上げられた。

OKURA 真心を込め、幸せを守り、技術を進化させる

建材事業セグメント 第2四半期連結累計期間



その他セグメント 第2四半期連結累計期間



キャッシュ・フロー

2. 通期の業績予想

通期業績予想



マクロ見通し

日本経済は円安・株高、復興需要、個人消費、消費税増税の駆け込み需要などにより緩やかに回復に向かう。

売上高

新規材料は前年を下回るものの建材の回復もあり、全体ではほぼ前年並みとなる。

営業利益

円安に伴う原料価格の上昇や電力料値上げ等による減益要因を建材の損益改善で補う。

通期業績予想



(億円)

	前期実績	通期予想	前年比
売上高	859	858	0.1%
営業利益	25.1	30.5	+21.2%
経常利益	23.8	27.5	+15.1%
当期純利益	15.7	23.0	+45.8%

通期業績予想 売上高



(億円)

	前期実績	通期予想	前年比
合成樹脂事業	494	510	+ 3.1%
新規材料事業	255	235	8.0%
建材事業	57	60	+ 3.9%
その他	51	53	+ 3.0%
合計	859	858	0.1%

通期業績予想 営業利益



(億円)

	前期実績	通期予想	前年比
合成樹脂事業	34.6	35.5	+ 2.4%
新規材料事業	17.9	16.5	8.3%
建材事業	15.1	6.5	-
その他	3.2	3.0	8.9%
調整額	15.6	18.0	-
合計	25.1	30.5	+ 21.2%

第4次中計の目指す姿



「社会から信頼される企業」
であり続ける

成長分野にソリューションを提供できる
「技術優位な企業集団」

第4次中計の基本方針



全社戦略は

国内市場は「量」・海外市場は「質」

重点課題

建材事業部の黒字達成 ステークホルダーからの信頼回復
現場力や労働生産性の向上 要素技術の深化と獲得



収益基盤の安定強化

「量」の拡大を目指して



【関西オークラ新工場建設】

食品ユーザーの要求に応えられる衛生環境を備える
量の拡大を狙う汎用製品にも継続投資

投資額: 17億円

スケジュール:

H25年8月着工、

H26年4月生産開始



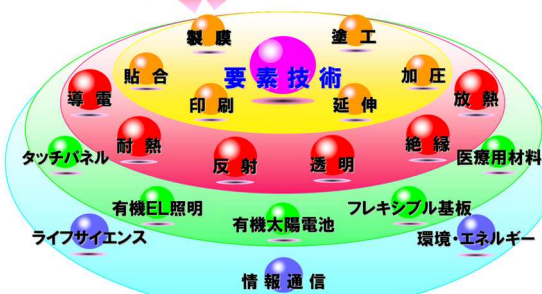
合成樹脂事業
関西オークラ新工場建設地【関西オークラ内(斜線部分)】

「質」の追求を目指して



【要素技術の深化と獲得】

「高温製膜」 「高粘度塗工製膜」



「質」の追求を目指して



【新規材料事業部 仲南G棟】

タッチパネル市場に向けた位相差補償フィルム等の
新しい生産技術に対応した工場

投資額: 6.3億円

期: 3期、期: 3.0億円

スケジュール:

- 期 H25年2月着工、
H26年1月生産開始
- 期 H26年2月着工、
H27年3月生産開始



新規材料事業
新工場建設地【仲南工場内(斜線部分)】

業績予想・事業計画に関する注意事項



本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社
が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき
作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生
ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合が
ございます。

平成25年8月22日

平成25年度第2四半期決算説明会資料

大倉工業株式会社

1. 売上高の推移

イ. 各部門別の業績推移

(単位：百万円、%)

部 門		平成23年度第2四半期		平成24年度第2四半期		平成25年度第2四半期	
		金 額	増 減 率	金 額	増 減 率	金 額	増 減 率
売 上 高	合 成 樹 脂 事 業	26,028	8.2	24,502	5.9	25,080	2.4
	新 規 材 料 事 業	10,569	21.1	9,846	6.8	11,798	19.8
	建 材 事 業	4,618	16.6	3,099	32.9	2,842	8.3
	そ の 他	2,219	9.1	2,504	12.8	2,691	7.5
	計	43,435	12.0	39,953	8.0	42,412	6.2
営 業 利 益	合 成 樹 脂 事 業	2,188	12.1	1,794	18.0	1,520	15.3
	新 規 材 料 事 業	463	43.7	753	62.5	427	43.3
	建 材 事 業	444		972		359	
	そ の 他	88	38.9	141	59.3	185	31.1
	調 整 額(注)	787		778		814	
	計	1,508	68.8	939	37.7	958	2.1
経 常 利 益		1,318	82.8	860	34.7	1,027	19.4
当 期 純 利 益		1,507	76.1	581	61.4	720	23.8

(注) 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

ロ. 販売数量の推移

(増減：%)

部 門 名		単 位	平成23年度第2四半期		平成24年度第2四半期		平成25年度第2四半期	
			数 量	増 減 率	数 量	増 減 率	数 量	増 減 率
合 成 樹 脂		トン	61,166	8.0	56,353	7.9	59,136	4.9
建 材	加 工 合 板	千枚	1,116	6.7	1,013	9.2	1,122	10.7
	パ [®] -ティクルホ [®] -ド [®]	トン	49,449	30.6	22,981	53.5	17,841	22.4
住 宅	土 地	区画	10	42.9	9	10.0	12	33.3
	建 物	戸	9	10.0	13	44.4	20	53.8

(注) 上記数量には仕入商品の販売数量を含めております。

2. 設備の状況

イ. 設備投資の推移（工事ベース実績及び計画）

（単位：百万円）

部 門	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度 第 2 四 半 期 実 績	平成 25 年 度 予 定
合 成 樹 脂 事 業	1,922	1,891	802	2,701
新 規 材 料 事 業	476	1,283	1,254	3,219
建 材 事 業	357	144	120	235
そ の 他	570	357	214	606
合 計	3,326	3,677	2,391	6,761

ロ. 設備投資計画

平成25年度の実施中及び計画の主なものは次の通りです。

（単位：百万円）

事 業 所 名	設 備 内 容	金 額	
合樹	第 四 工 場	合成樹脂フィルム製造設備	350
	関 西 オ ー ク ラ	工場建設工事及び合成樹脂フィルム製造装置	460
新 規 材 料 事 業	工場建設工事及び光学フィルム製造装置	3,183	

3. 減価償却費の実績及び予定

（単位：百万円）

部 門	平成 23 年 度	平成 24 年 度	平成 25 年 度 第 2 四 半 期 実 績	平成 25 年 度 予 定
合 成 樹 脂 事 業	1,998	2,048	902	2,332
新 規 材 料 事 業	1,097	1,077	551	1,120
建 材 事 業	1,230	962	350	731
そ の 他	590	519	252	603
合 計	4,917	4,609	2,056	4,786

4. 金融収支推移表

(単位：百万円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度 第2四半期実績	平成25年度予定
金額	383	323	119	317

(注) 金融支出には、債権売却損・手形売却損を含めております。

5. 平成25年度の業績予想について

(単位：百万円、%)

項目		下半期予想	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	合成樹脂事業	25,919	51,000	1,553	3.1
	新規材料事業	11,701	23,500	2,044	8.0
	建材事業	3,157	6,000	225	3.9
	その他	2,608	5,300	156	3.0
	計	43,387	85,800	109	0.1
営業利益	合成樹脂事業	2,029	3,550	84	2.4
	新規材料事業	1,222	1,650	148	8.3
	建材事業	290	650	861	
	その他	114	300	29	8.9
	調整額(注)	985	1,800	235	
	計	2,091	3,050	532	21.2
経常利益		1,722	2,750	360	15.1
当期純利益		1,579	2,300	722	45.8

(注) 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。